Husqvarna®

T540XP® Mark III

JA 取扱説明書 2-33

目次

はじめに..... 2
安全性..... 5
組立.....10
Operation（操作）..... 10
メンテナンス..... 18
トラブルシューティング..... 29
搬送、保管、廃棄.....30
主要諸元..... 30
アクセサリー..... 31
適合宣言..... 33

はじめに

用途

この製品は、剪定や樹木の分割など専門的な樹木の保全作業に使用します。

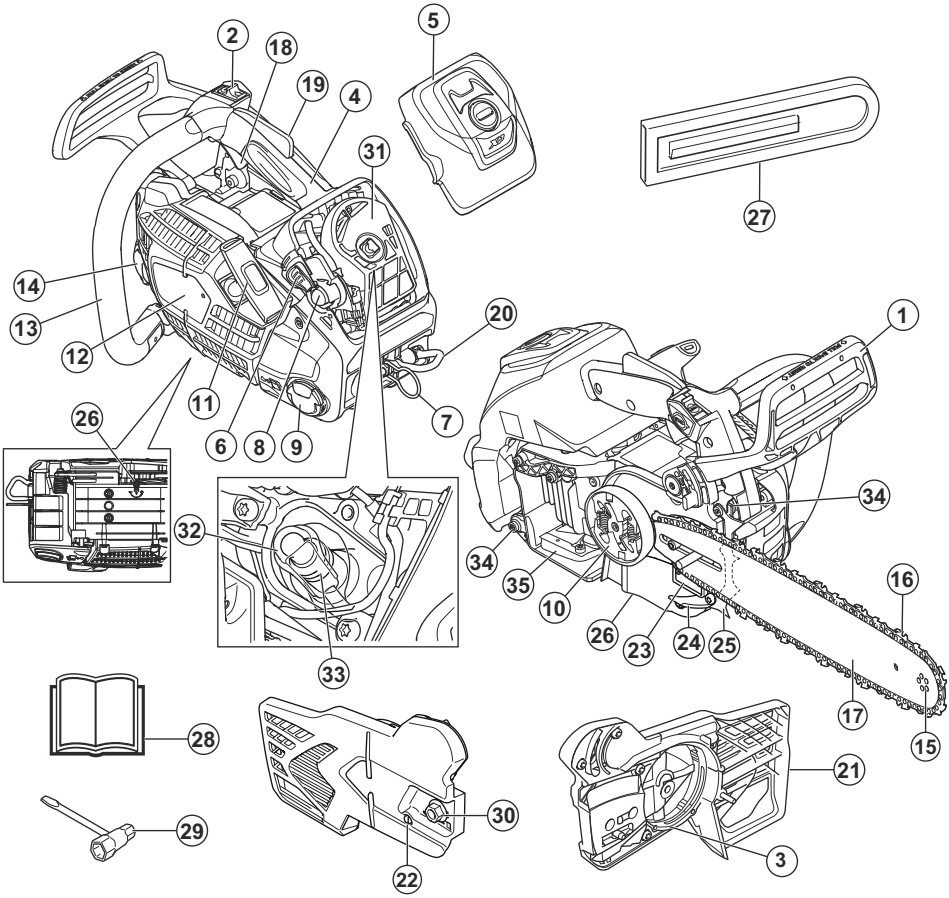
注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の説明

Husqvarna T540XP® Mark III は、燃焼機関を搭載したチェンソーモデルです。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

製品の概要 -



1. フロントハンドガード
2. 停止スイッチ
3. ブレーキバンド
4. トップハンドル
5. エアフィルターカバー
6. 始動レバー
7. ロープアイレット
8. エアパージバルブ
9. 燃料タンクキャップ
10. クラッチ
11. スターターロープハンドル
12. スターターハウジング
13. フロントハンドル
14. オイルタンクキャップ
15. ノーズスプロケット
16. ソーチェン
17. ガイドバー
18. スロットルトリガー
19. スロットルトリガーロック
20. ベルトアイレット
21. クラッチカバー
22. チェンの張り調整ネジ
23. 製品および製造番号の付いたプレート
24. チェンキャッチャー
25. スパイクバンパー
26. オイルポンプ調整ネジ
27. ガイドバーカバー
28. 取扱説明書
29. コンビレンチ
30. バーナット

31. エアフィルター
32. スパークプラグキャップ
33. スパークプラグ
34. 防振エレメント
35. マフラーおよびスパークアレスタースクリーン

製品に表記されるシンボルマーク

十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品により、作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。

本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。

必ず、認定保護ヘルメット、認定イヤマフ、および防護メガネを着用してください。

停止。

本製品は EC 指令適合製品です。

環境に対する騒音レベルは EC 指令 2000/14/EC、英国の指令および規制、ニューサウスウェールズの法規「Protection of the Environment Operations（Noise Control）Regulation 2017」に準拠しています。本製品の保証騒音レベルは、*主要諸元 30* ページおよびラベルに記載されています。

チェンブレーキ、作動（右）。チェンブレーキ、解除（左）。

エアパージバルブ。

オイルポンプの調整。

燃料。

チェンオイル。

チェンソーは必ず両手で操作してください。

決してチェンソーを片手だけで操作しないでください。

ガイドバーの先端がいかなる物にも接触しないようにしてください。

警告！キックバックは、ガイドバーの先端に何かが接触したときに起こり、ガイドバーを上方向または使用者に向かって急激に反動させる原因となります。キックバックは、重傷の原因となります。

手と足に適切な保護具を着用してください。

本チェンソーは、樹木の保全作業の特別な訓練を受けた使用者だけが使用してください。取扱説明書を参照してください。

yyyywwxxxx

製造番号はシリアルプレートまたはレーザー印刷に記載されています。**yyyy** は製造年、**ww** は製造された週です。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／デカールは、特定の市場の認定条件を示します。

ユーロ V 排出規制

警告： エンジンを改造すると、この製品の EC 型式認証が無効になります。

安全性

安全性の定義

各シグナルワードの重大度の定義は次のとおりです。

警告： 人身傷害。

注意： 製品の損傷。

注記： この情報は、本製品を使用しやすくするためのものです。

一般的な安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 不注意な取り扱いや誤った取り扱いをするとチェンソーは危険な道具となり、重傷や死亡にいたるおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本製品の設計に変更を加えないでください。他者によって改造された形跡のある製品を使用しないでください。また、本製品に推奨されるアクセサリーのみを使用してください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。
- 使用されたマフラー、スパークアレスター、スパークアレスター取り付けフェイスには、燃焼により生じた発ガン性の粒子の堆積が含まれることがあります。マフラーやスパークアレスターを取り扱う際には、これらの堆積物に触れないようにしてください。マフラーやスパークアレスターを取り扱う前に、マフラーの*点検 21* ページを参照してください。
- エンジンの排気ガスやチェンオイルのミスト、切りくずなどを長期間にわたって吸引すると、健康を害する原因となることがあります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な傷害または致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。
- この取扱説明書に記載されている情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。お近くのサービス代理店や経験の豊富なチェンソーユーザーなどに相談してください。確信を持てない作業は行わないでください！

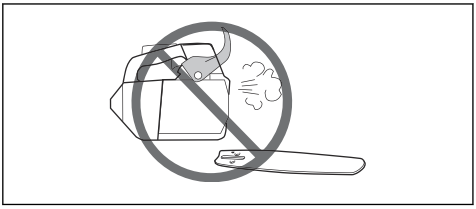
操作のための安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

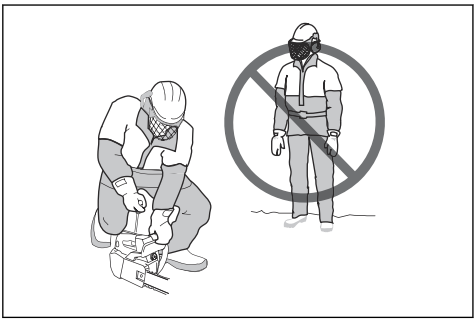
- トップハンドル付きのこのチェンソーは、木の手入れと保全用に特化された設計になっています。特殊でコンパクトなハンドルデザイン（密に配置されたハンドル）を採用しているため、コントロールできなくなるリスクが高くなっています。このため、この特殊なチェンソーは、伐採作業の特殊な技術訓練を受け、（リフト、ロープ、安全ハーネスを使って）適切に安全を確保した使用者が、樹上での作業に対してのみ使用してください。地上でのその他のカッティング作業には、（広めのハンドルを装備した）通常のチェンソーをお勧めします。
- 樹上で作業するためには、けがを負うリスクの増加を減らすため、伐採作業用の特殊技術を使用し、これを順守する必要があります。安全関連の機器および木に登るためのその他の機器（例：ハーネス、ロープ、ベルト、クライミングアイアン、スナップフック、カラビナ）の使用など、樹上での作業に関する特殊な専門の訓練を受けていない限り、樹上での作業は行わないでください。
- 落下した切断部分を受け止めようとしないでください。樹上での作業のときに、体をロープ 1 本で支えないでください。必ず安全ロープを 2 本使用してください。
- 伐倒作業では、木を切り終わったら直ちにイヤマフを外してください。木が倒れるときの音や危険な兆候を聞き取る必要があります。
- 本製品を使用する前に、キックバック現象とその回避方法について理解してください。手順については、*キックバックについて 13* ページを参照してください。
- 本製品に不具合がある場合は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。手順については、*メンテナンス 18* ページを参照してください。
- スパークプラグキャップやイグニッションケーブルに明らかな損傷のある場合は、絶対に本製品を使用しないでください。火花が発生し火災の原因となります。
- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは、絶対に本製品を使用しないでください。
- 濃霧、大雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本製品を使用しないでください。悪天候下で作業をすると疲労するばかりでなく、地面の凍結、予

期しない方向への伐倒などのリスクが増加するおそれがあります。

- カッティング装置に欠陥があったり、ガイドバーとソーチェンの組み合わせが誤っていたりすると、キックバックの危険性が高くなります！弊社の推奨するガイドバーとソーチェンの組み合わせで使用し、指示通りにヤスリをかけてください。手順については、 *アクセサリー 31* ページを参照してください。
- ガイドバーやソーチェン、カバー類が正しく装着されていない状態では、絶対に本製品を始動しないでください。手順については、 *組立 10* ページを参照してください。本製品にバーとソーチェンが取り付けられていないと、クラッチが緩んで重傷を負うおそれがあります。

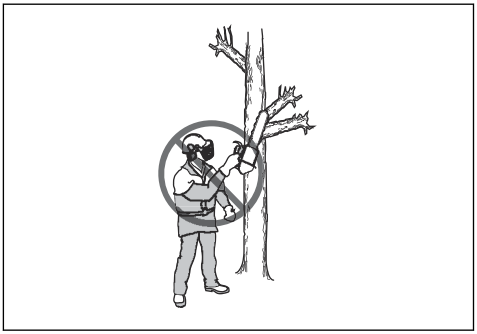


- 本製品を室内で始動しないでください。排気ガスを吸入すると危険です。
- 周囲をよく見回し、人や動物が本製品に触れる危険がなく、本製品の制御に影響しないことを確認してください。



- 集中力が欠けると、近くの枝や木などにガイドバーのキックバックゾーンに当たり、キックバックが起こるおそれがあります。
- チェンソーを操作するときは、決して片手で握らないでください。チェンソーは片手では安全にコントロールできません。自分がけがを負うおそれがあります。常に、ハンドルを両手でしっかりと握ってください。
- チェンソーを持つときは、必ず右手で上部ハンドルを、左手でフロントハンドルを握ってください。親指とその他の指でハンドルを包むように持ちます。右利き、左利きに関わらず、この方法で握ってください。キックバックの影響を最小限に抑え、チェンソーを制御するのに適した握り方です。ハンドルから手を放さないでください。

- 肩より高い位置でチェンソーを使用しないでください。



- 事故が起こった場合に助けを求めることができない状況下では、本製品を使用しないでください。
- 木くずがクラッチカバーに詰まって、ソーチェンが動かなくなることがあります。清掃する前は、必ずエンジンを停止してください。
- 切断中にソーチェンが挟まれてしまったら、エンジンを止めてください。
- 狭い場所や換気の悪い場所でエンジンをかけると、一酸化炭素中毒により死亡する場合があります。
- エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物の近くでは、本製品を始動しないでください。
- 本製品を始動するときや、短距離を移動するときは、サイドブレーキのようにチェンブレーキを使用します。本製品は、常にフロントハンドルを持って運んでください。これにより、自身や周りにいる人にソーチェンが当たる危険性を低減できます。
- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。
- チェンソーをご使用の際に起こり得る状況をすべて説明することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。使用者の能力範囲外であると思われる場合は、操作を行わないでください。これらの注意事項を読んだ後でも、不

明点などがある場合は、使用を続けずに専門コンサルタントにご相談ください。チェンソーの使用方法についてご質問があるときは、お気軽に代理店または Husqvarna までご連絡ください。お持ちのチェンソーを効率良くまた安全に使用する場合に役立つ方法やアドバイスを提供いたします。可能な限り、チェンソーの使用法などの訓練を受けてください。代理店、林業学校、図書館などで、トレーニング資料や講習などについての情報を提供しています。

身体保護具

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- チェンソー事故の大半は、ソーチェンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可されたプロテクティブ装具を着用する必要があります。プロテクティブ装具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される装具については、サービス代理店にお問い合わせください。
- ぴったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的にプロテクティブ装具の状態を確認してください。
- 認可された防護ヘルメットを着用してください。
- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 認可された保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛散する物体で負傷しないようにしてください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛散させます。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェンソー用保護手袋を着用してください。
- チェンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 火花の発生による危険。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。

本製品の安全装置

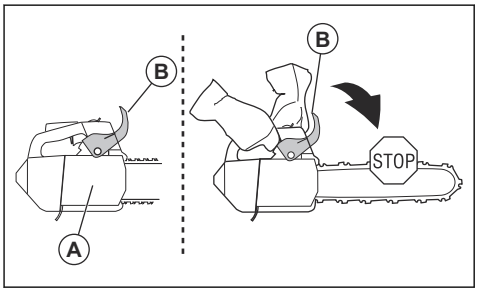
警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。参照：*製品の安全装置のメンテナンスと点検 19 ページ*。
- 安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、Husqvarna サービス代理店にお問い合わせください。

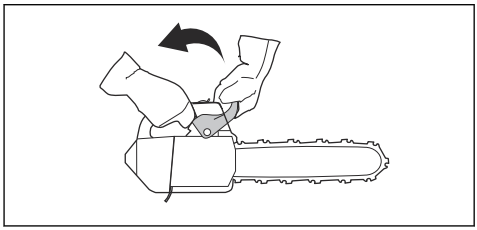
チェンブレーキとフロントハンドガード

本製品にはチェンブレーキが備わっており、キックバックが発生するとソーチェンが停止します。チェンブレーキは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。

チェンブレーキ（A）は、手動（左手を使う）またはイナーシャ機構により自動でかかります。フロントハンドガード（B）を前方に動かして、チェンブレーキを手動でかけます。

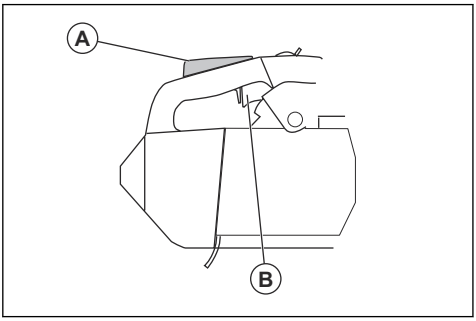


フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレーキを解除します。



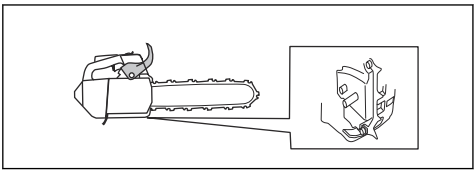
スロットルトリガーロック

スロットルトリガーロックは、スロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ハンドルを握って、スロットルトリガーロック（A）を押すと、スロットルトリガー（B）が解除されます。ハンドルから手を放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックは元の位置に戻ります。この機能により、スロットルトリガーがアイドリング速度でロックされます。



チェンキャッチャー

ソーチェンが破損したり外れたりした場合は、チェンキャッチャーがソーチェンを受け止めます。ソーチェンの張りを調整し、ソーチェンとガイドバーに適切なメンテナンスを実施することで、事故のリスクを軽減できます。



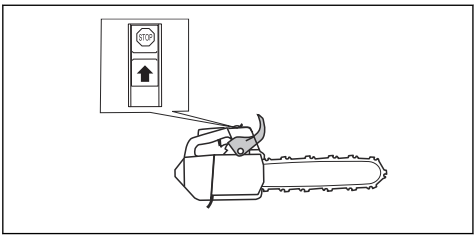
防振装置

防振装置は、ハンドルの振動を軽減します。防振ユニットは、製品本体とハンドルユニットを分けるために機能します。

本製品の防振装置の位置については、*製品の概要 - 3* ページを参照してください。

スタート／ストップスイッチ

スタート／ストップスイッチはエンジンを停止するとき使用します。



マフラー

警告： マフラーは、操作の前後およびアイドリング速度時に非常に高温になります。火災の危険があるため、可燃性物質や煙の近くで製品を操作する場合は、特に注意してください。

警告： マフラーがない、または損傷している場合は、本製品を使用しないでください。マフラーがない、または損傷している場合は、騒音レベルと火災発生の危険性が高くなります。手元に消火器を用意してください。お住まいの地域でスパークアレスターメッシュの使用が義務付けられている場合は、スパークアレスターメッシュなしで本製品を使用したり、破損したスパークアレスターメッシュを使用したりしないでください。

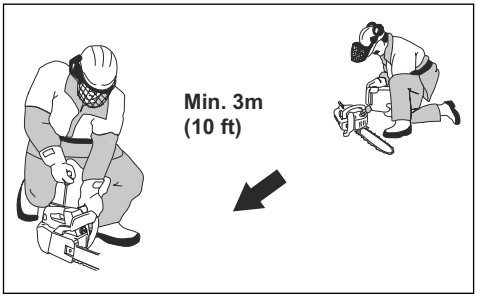
マフラーは騒音レベルを最小限に抑え、排気ガスを作業者から遠ざける働きをします。高温で乾燥した地域では、火災の危険性が高くなります。現地の法規制およびメンテナンス手順に従ってください。

燃料の安全について

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料の補給や混合（ガソリンと 2 サイクルオイル）を行うときは、十分に換気してください。
- 燃料や燃料のガスは、非常に引火性が高く、人間がそれを吸い込んだり、皮膚に付けたりすると深刻な傷害を引き起こすことがあります。このため、燃料の取り扱いには細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。
- 燃料やチェンオイルの取り扱いには十分注意してください。火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。
- 燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。
- 給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。
- 給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。
- 給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。
- エンジン運転中は絶対に給油しないでください。

- 必ず給油場所から 3 m（10 フィート）以上離れた場所で、本製品を始動してください。



給油後、以下のような状況では本製品を決して始動しないでください。

- 本製品に燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料がかかったとき。衣服を着替え、皮膚に付いた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 本製品から燃料が漏れている場合。燃料タンク、燃料キャップ、および燃料ホースの漏れを定期的に点検してください。

メンテナンスのための安全注意事項

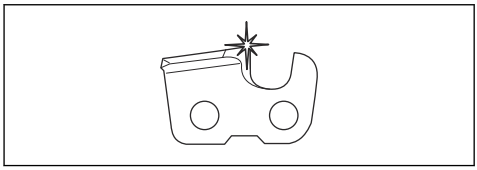
警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示をお読みください。

- この取扱説明書に記載されているメンテナンスおよび点検のみ行ってください。その他の点検および修理は、専門のサービス担当者が実施します。
- この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、保守作業を定期的に行ってください。定期的にメンテナンスを実行することにより、製品の寿命が延び、事故の危険性が減少します。手順については、「*製品の安全装置のメンテナンスと点検* 19 ページ」を参照してください。
- メンテナンス後に本取扱説明書の安全点検に合格しなかった場合、サービス販売店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備の提供を保証します。

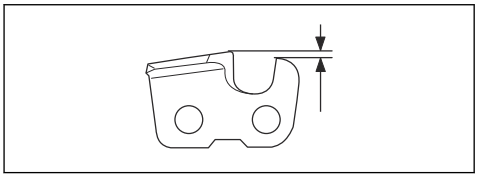
カッティング装置の安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

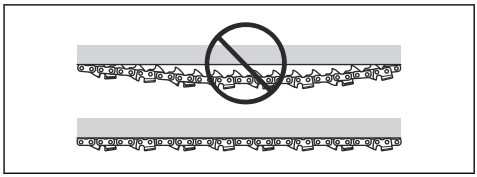
- 認可されたガイドバー／ソーチェンの組み合わせと目立て装置のみを使用してください。手順については、「*アクセサリー* 31 ページ」を参照してください。
- ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。
- 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従って、推奨された目立てゲージをご使用ください。破損している、または誤って目立てされたソーチェンを使用すると事故の危険性が高まります。



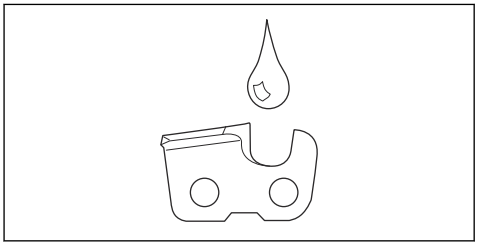
- デプスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデプスゲージの設定を使用してください。デプスゲージの設定が大きすぎると、キックバックの危険性が高まります。



- ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。ソーチェンがガイドバーにしっかり取り付けられていないと、ソーチェンが外れる場合があります。ソーチェンを正しく張らないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。*ソーチェンの張りの調整方法* 26 ページを参照してください。



- カッティング装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油されていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。



組立

はじめに

警告： 本製品を組み立てる前に、安全に関する章を読んで理解してください。

ガイドバーとソーチェンの組み立て方法

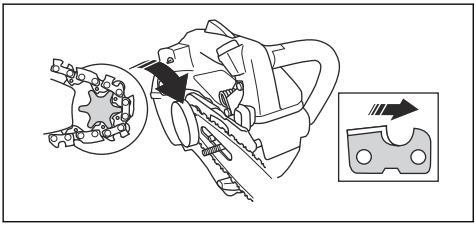
1. チェンブレーキを解除します。
2. バーナットを緩めて、クラッチカバーを取り外します。

注記： クラッチカバーが取り外しにくい場合は、バーナットを締め込んで、チェンブレーキをかけて解除します。正しく解除された場合は、カチッという音がします。

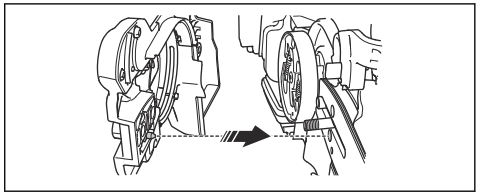
3. ガイドバーをバーボルトに取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで動かします。
4. ドライブスプロケットにソーチェンを正しく取り付け、ガイドバーの溝にはめます。

警告： ソーチェンを組み立てるときは、必ず保護グローブを着用してください。

5. カッターの刃の先端部がガイドバーの上端で前向きになっていることを確認します。



6. ガイドバーの穴をチェン調整ピンに合わせて、クラッチカバーを取り付けます。



7. バーナットを指できつく締めます。
8. ソーチェンを張ります。手順については、「*ソーチェンの張りの調整方法 26 ページ*」を参照してください。
9. バーナットを締めます。

注記： 一部のモデルには、バーナットが 1 つしかありません。

ベルトアイレットの組み立て方法

ベルトアイレットは、製品をベルトまたはハーネスに取り付けするために使用します。

- ベルトアイレットの組み立てについては、サービス代理店にお問い合わせください。

Operation（操作）

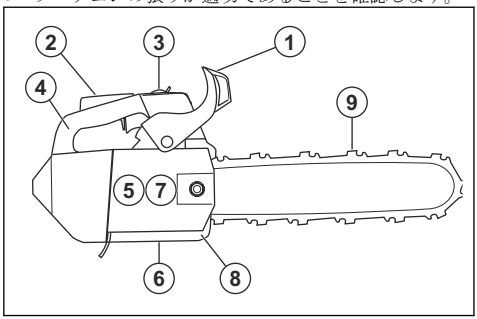
はじめに

警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

製品使用前の機能チェック

1. チェンブレーキが正しく機能し、損傷がないことを確認します。
2. スロットルトリガーロックが正しく機能し、損傷がないことを確認します。
3. スタート／ストップスイッチが正しく機能し、損傷がないことを確認します。
4. ハンドルにオイルが付着していないか確認します。
5. 防振装置が正しく機能し、損傷がないことを確認します。
6. マフラーが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。
7. すべての部品が正しく取り付けられており、損傷や不足がないことを確認します。
8. チェンキャッチャーが正しく取り付けられていることを確認します。

9. ソーチェンの張りが適切であることを確認します。



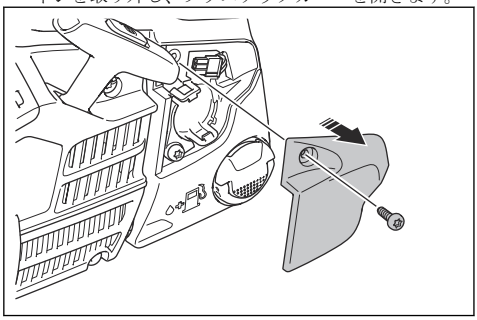
コネクティビティ

本製品はコネクティビティ対応で、ハスクバーナのコネクティビティ対応装置を取り付ける箇所を備えています。ハスクバーナのコネクティビティ対応装置を取り付ける際、ワイヤレステクノロジーにより Husqvarna Fleet Service™ を使用し、本製品をモバイル機器に接続できます。これにより、より多くの機能を使用できるようになります。

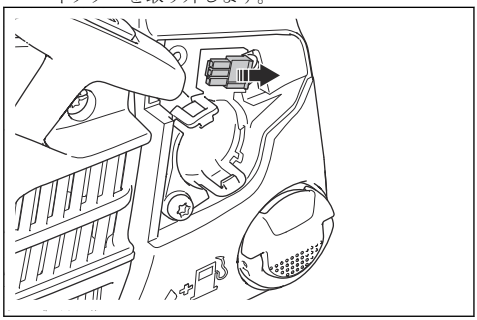
Husqvarna connectivity device の取り付け

Husqvarna connectivity device を取り付けるには、次の手順を実行します。Husqvarna connectivity device についての詳細は、www.husqvarna.com を参照してください。

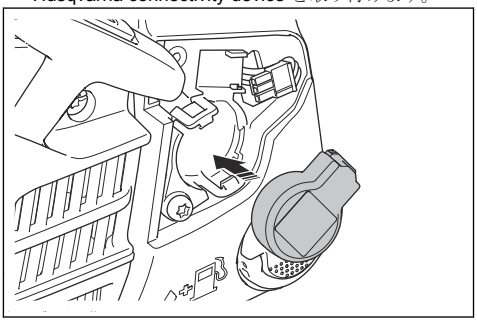
1. ネジを取り外し、プラスチックカバーを開きます。



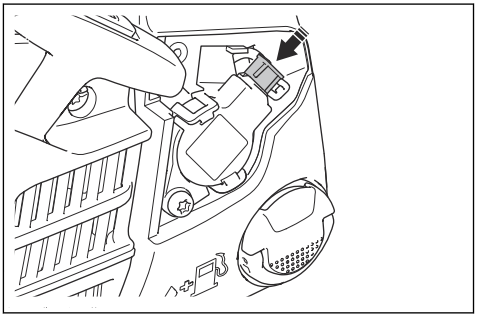
2. コネクターを取り外します。



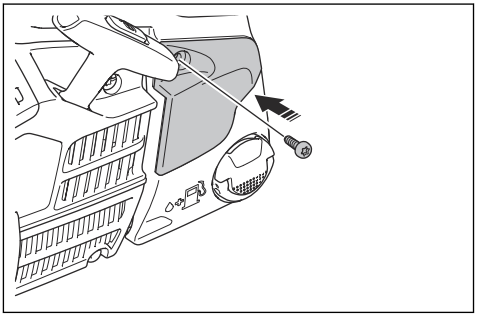
3. Husqvarna connectivity device を取り付けます。



4. コネクターを Husqvarna connectivity device に取り付けます。



5. プラスチックカバーを取り付け、ネジを締めつけます。



Husqvarna Fleet Services™

Husqvarna Fleet Services™ は、産業用フリート管理者にすべての製品の概要を通知するクラウドソリューションです。フリート管理者は、製品に関する情報にリモートでアクセスすることもできます。Husqvarna Fleet Services™ の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

Husqvarna Connect

Husqvarna Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。Husqvarna Connect アプリは、お持ちの Husqvarna 製品の拡張機能を提供します。

- 拡張製品情報。
- 製品の部品とサービスに関する情報とヘルプ。

Husqvarna Connect の使い方

1. Husqvarna Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Connect アプリで登録を行います。
3. Husqvarna Connect アプリの指示に従い、本製品を接続して登録します。

注記： Husqvarna Connect アプリは一部の市場ではダウンロードできません。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

燃料

本製品には 2 サイクルエンジンが搭載されています。

注意： 誤った種類の燃料を充填すると、エンジンが損傷する可能性があります。ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。

混合済み燃料

- Husqvarna の混合済みアルキレート燃料を使用することにより、最高の性能を保ちながらエンジンの寿命を延ばすことができます。この燃料は、標準的な燃料に比べて有害物質が少なく、有害な排気ガスの排出を低減します。この燃料は燃焼後の残留物が少ないため、エンジンの部品を清潔に保つことができます。

燃料の混合方法

ガソリン

- エタノールを最大 10% 含んだ高品質の無鉛ガソリンを使用してください。

注意： オクタン価が 90 RON/87 AKI 未満のガソリンは使用しないでください。オクタン価が低いガソリンを使用すると、エンジンがノッキングし、エンジンが損傷するおそれがあります。

2 サイクルエンジンオイル

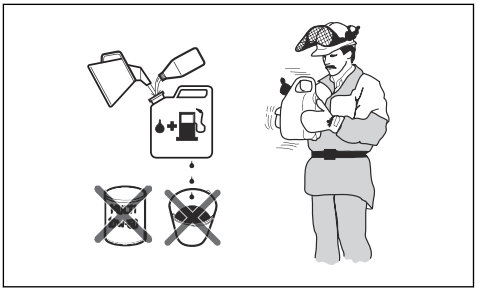
- 最適な結果を得るには、 Husqvarna 2 ストロークオイルを使用してください。
- Husqvarna 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、空冷エンジン用に調合された市販の高品質 2 サイクルオイルを使用してください。適切なオイルの選択については、サービス代理店にお問い合わせください。

注意： アウトボードオイルとも呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルエンジンオイルは、使用しないでください。4 サイクルエンジンオイルは使用しないでください。

ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合方法

ガソリン、リットル	2 サイクルエンジンオイル、リットル
	2% (50:1)
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40

注意： 少量の燃料を混合する場合、わずかな誤差が混合比率に大きく影響します。オイル量を慎重に計量し、正しい混合比率にしてください。



1. 汚れのない燃料用容器に半分の量のガソリンを注ぎます。
2. 全量のオイルを追加します。
3. 燃料混合物を混ぜ合わせます。
4. 残りのガソリンを容器に加えます。
5. 燃料混合物を慎重に混ぜ合わせます。

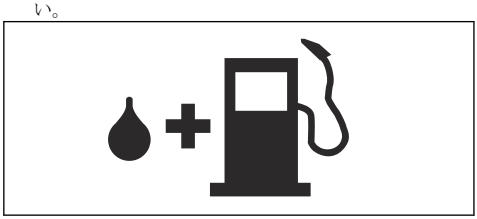
注意： 1 か月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

燃料タンクの充填

警告： 安全のために、以下の手順に従ってください。

1. エンジンを停止し、冷まします。

2. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。



3. 容器を振って、燃料を十分混合してください。
4. 燃料タンクキャップをゆっくりと外して、圧力を解放します。
5. 燃料タンクを充填します。

注意： 燃料タンクに燃料を入れすぎないようにしてください。燃料は高温になると膨張します。

6. 燃料タンクキャップをしっかり締めます。
7. 本製品と周囲にこぼれた燃料をきれいに拭き取ります。
8. 給油場所から 3 m（10 フィート）以上離れた場所で、エンジンを始動してください。

注記： 燃料タンクの位置を確認するには、*製品の概要 - 3* ページを参照してください。

慣らし運転する方法

- 使用開始から 10 時間は、長寿命のために、負荷をかけずにフルスロットルで使用することを避けてください。

正しいチェンオイルの使用方法

警告： 人体や環境に害を及ぼすため、廃油は使用しないでください。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェンを損傷させるおそれがあります。

警告： カッティング装置の潤滑が十分でない場合、ソーチェンが破損する可能性があります。作業者が重傷を負ったり、死亡事故につながったりするおそれがあります。

警告： この製品には、チェンオイルがなくなる前に燃料を使い切るようにする機能があります。この機能を正常に動作させるために、適切なチェンオイルを使用します。チェンオイルの選び方については、お近くのサービス代理店にご相談ください。

- ソーチェンの寿命や環境保護のために Husqvarna 製のチェンオイルを使用してください。Husqvarna 製のチェンオイルを入手できない場合は、標準的なチェンオイルの使用をお勧めします。
- ソーチェン表面に滑らかな皮膜を形成するチェンオイルを使用してください。
- 外気温に合う適正な粘着性のチェンオイルを使用してください。

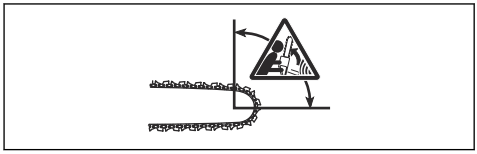
注意： 粘度が低すぎるオイルは、燃料より早くなくなります。0°C 未満の温度では、一部のチェンオイルは粘度が高くなりすぎて、オイルポンプ構成部品が損傷するおそれがあります。

- 推奨されているカッティング装置を使用してください。参照： *アクセサリー 31* ページ。

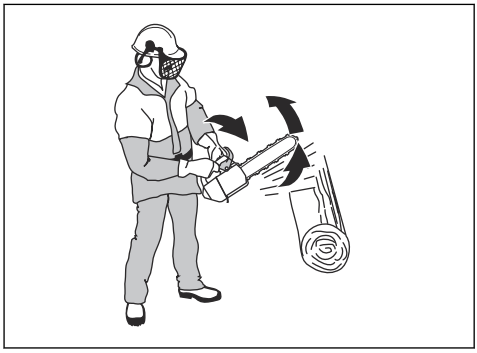
キックバックについて

警告： キックバックにより作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。リスクを軽減するには、キックバックの原因とその回避方法を理解しておく必要があります。

キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときに起こります。キックバックは突然発生し、製品本体が作業者に向かって跳ね返ってくることがあります。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体は作業者に向かって跳ね返りますが、別の方向に向かう場合もあります。キックバック発生時に本製品をどのように使用していたかによって、キックバックの動きの方向が決まります。



バー先端の半径が小さいと、キックバックの力が小さくなります。

キックバックの発生を減らすには、低キックバックソーチェンを使用してください。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。

警告： キックバックが発生しないソーチェンはありません。指示に必ず従ってください。

キックバックに関するよくある質問

- **キックバックが起きた場合、必ず手動でチェンブレーキをかけることができますか？**

  いいえ。フロントハンドガードを前方に押すために、ある程度の力を使う必要があります。必要な力がかからない場合、チェンブレーキはかかりません。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生すると、チェンブレーキがソーチェンを止められず、ソーチェンが人体に接触する可能性があります。また、手がフロントハンドガードに触れず、チェンブレーキをかけられない位置もあります。

- **キックバックが起きた場合、必ずイナーシャ機構でチェンブレーキをかけることができますか？**

  いいえ。まずはチェンブレーキが正しく機能する必要があります。チェンブレーキの点検方法の詳細については、「*フロントハンドガードの点検方法 19 ページ*」を参照してください。本製品を使用する前に、毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレーキがかかるには、キックバックが強い力で起こる必要があります。チェンブレーキの感度が高すぎると、負荷の高い作業の際にチェンブレーキがかかりやすくなります。

- **キックバック発生時にチェンブレーキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？**

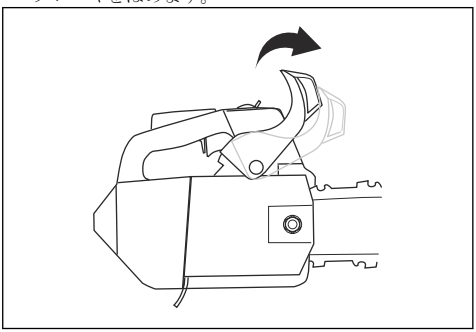
  いいえ。怪我を防ぐには、チェンブレーキが適切に動作する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレーキも使用してソーチェンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレーキによるソーチェンの停止が間に合わずに、作業者にソーチェンが当たる可能性があります。

警告： 使用者が正しい操作方法で使用した場合にのみ、キックバックを防ぐことができます。

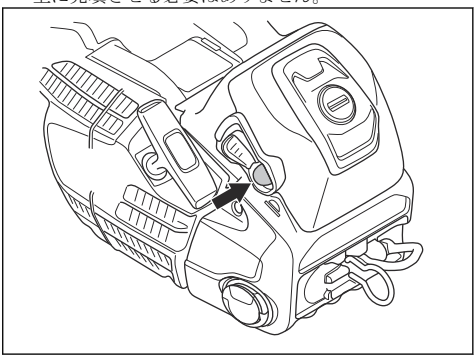
本製品始動前の作業

警告： 負傷の危険性を低減するために、本製品を始動するときはチェンブレーキをかけてください。

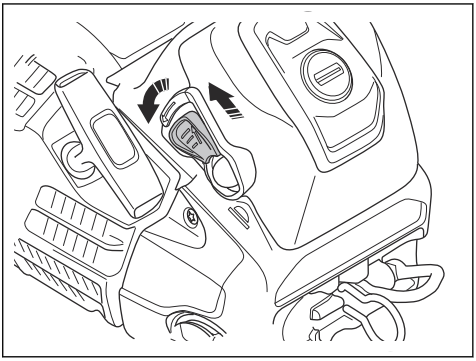
1. フロントハンドルガードを前方に動かして、チェンブレーキをはめます。



2. エアパージバルブを約 6 回、または燃料がバルブに溜まり始めるまで押します。エアパージバルブを完全に充填させる必要はありません。



3. 始動レバーを始動位置に設定します。



4. 詳しくは *本製品の始動方法 14 ページ*を参照してください。

本製品の始動方法

警告： 製品を始動する際は、安定した場所で行ってください。

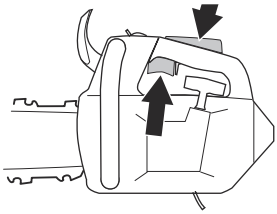
警告： アイドリング速度でソーチェンが回転する場合は、本製品を使用せず、サービス代理店にご相談ください。

1. 本製品を地面に置きます。
2. 左手でフロントハンドルを押さえます。
3. トップハンドルの後部を膝で押さえます。
4. 抵抗を感じるまで、右手でスターターロープハンドルをゆっくりと引っ張ります。

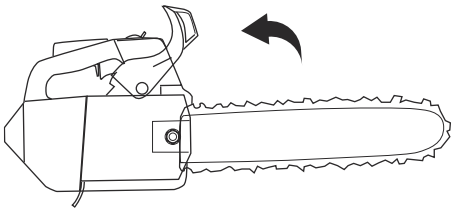
警告： スターターロープを手に巻き付けないでください。

注意： スターターロープを完全に引き出さないでください。また、スターターロープハンドルを放さないでください。

5. エンジンが始動するまで、すばやく、力を掛けてスターターロープハンドルを引っ張ります。
6. スロットルトリガーロックをすばやく解除して、本製品をアイドリング速度に設定します。



7. フロントハンドガードを後方に動かして、チェンブレーキを解除します。



8. 本製品を使用します。

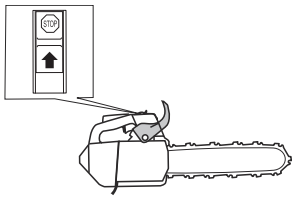
樹上での本製品の始動方法

注記： 本製品を始動する前に燃料が十分にあることを確認してください。

1. チェンブレーキをかけます。
2. 製品を始動するときは、身体の左側または右側で製品を持ちます。
   a) 製品を左側に持っている場合は、左手でフロントハンドルを持ちます。右手でスターターロープハンドルを持ち、製品を始動させたら身体から離します。
   b) 製品を右側に持っている場合は、右手でいずれかのハンドルを持ちます。左手でスターターロープハンドルを持ち、製品を始動させたら身体から離します。

本製品を停止するには

1. スタート／ストップスイッチを STOP 位置にセットします。



操作方法に関する情報

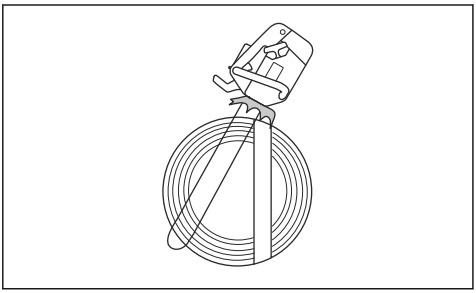
警告： 本取扱説明書に記載されている操作方法に関する情報は、本製品を操作するためのトレーニングにはなりません。本製品は、樹木のメンテナンスの適切なトレーニングを受けた場合にのみ使用してください。正しいトレーニングを受けずに作業すると、作業者や周囲の人が重症や死亡に至る場合があります。

- 切断するときは、フルスロットルで使用し、切断後は速度をアイドリング速度に落とします。

注意： エンジンに負荷をかけずにフルスロットルで長時間作動させると、エンジンが損傷する場合があります。

- 切断するときに、スパイクバンパーを樹幹に刺しこみ、レバーとして使用します。

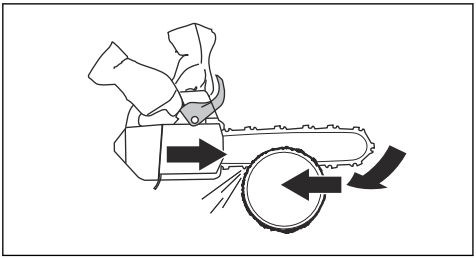
注記： 一部のモデルにはスパイクバンパーは付属していません。詳しくは、サービス販売店までお問い合わせください。



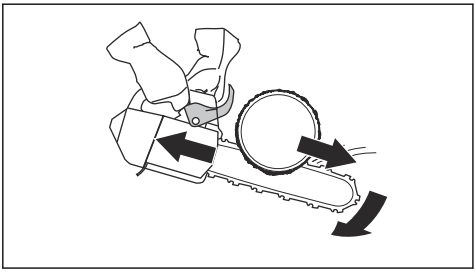
引き切りと押し切り

本製品を使用して 2 つの位置から木を切断することができます。

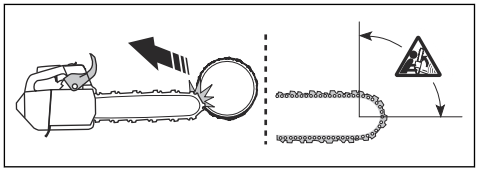
- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に製品を押します。



警告： ソーチェンが幹に引っかかると、製品が作業者に向かって押し出されます。製品をしっかりと持ち、ガイドバーのキックバックゾーンが木に触れておらず、キックバックが発生しないことを確認します。

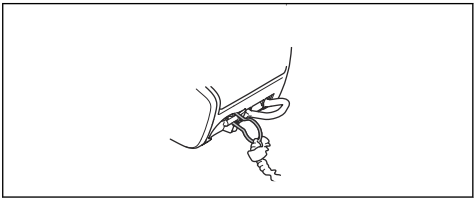


本製品を木の上で使用するための準備

地上作業者

地上作業者として、次の手順を実行します。

1. 製品を点検します。
2. 燃料タンクとチェンオイルタンクを充填します。
3. 認可済みの安全ストロップの端をロープアイレットに取り付けます。



注記： 安全ストロップは、本製品を落とした場合に地面に落下することを防ぎます。

4. 安全ストロップのもう一方の端にカラビナがあることを確認します。
5. 製品を始動し、暖機運転を行います。
6. 本製品を停止します。
7. チェンブレーキをかけます。
8. 引き上げツールを使用して、樹上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げます。

警告： 木の上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げる際は、製品が安全に取り付けられていることを確認してください。

樹上作業者

樹上作業者として、次の手順を実行します。

1. 引き上げツールから安全ストロップを外す前に、本製品をハーネスに取り付ける必要があります。ベルトアイレットか安全ストロップのスチールリングを通して製品をハーネスに取り付けます。

警告： ハーネスの推奨される固定ポイントの 1 つに安全ストロップを取り付けます。

警告： 安全ストロップだけを使用して製品をハーネスに取り付ける場合は、安全ストロップで製品を完全に下へ降ろします。本製品を高い位置から落とさないでください。

2. 認可済みカラビナを使用して、安全ストロップの自由端をハーネスの接続ポイントのいずれかに取り付けます。これが第一接続ポイントです。

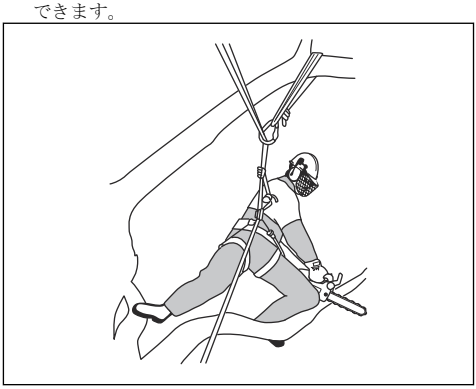
注意： 安全ストロップは、必ずロープアイレットに取り付ける必要があります。

3. 切断作業をする際には、自分が安定した安全な位置にいることを確認してください。
4. 本製品を第二接続ポイントから放し、本製品を始動して切断作業を行います。
5. 切断作業完了後、チェンブレーキを直接かけます。
6. 本製品を停止し、第二接続ポイントに置きます。

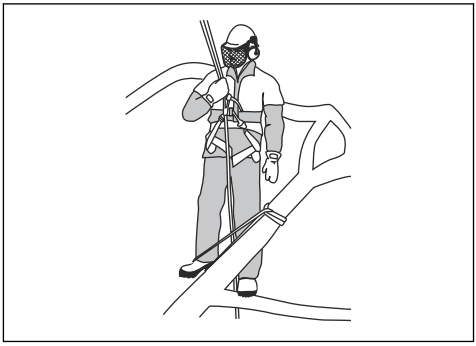
本製品を樹上で操作する方法

警告： ほとんどの事故は、作業者が本製品を制御しきれなかったり、作業位置が不適切だったりした場合に発生します。

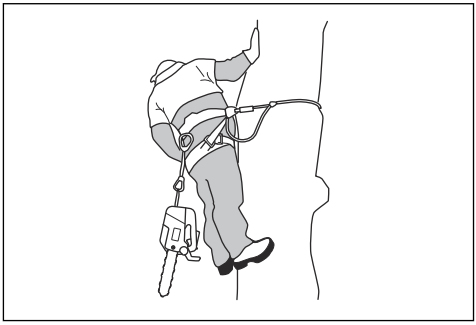
- 安全な作業位置を確保します。
- 横方向の切断は腰の高さまで、縦方向の切断はみぞおちの高さまでにします。
- 本製品は両手で持ってください。
- 縦方に枝を切断するときは、足元が安定していることを確認し、横力を低く抑えます。別の固定ポイントで安全なラインを見つけ、横方向の力をなくすか、弱めるようにしてください。調整可能な環索で、ハーネスから直接別の固定ポイントを使用することもできます。



- 安全な作業位置を保つために足縄を使用してください。



- 定期的にハーネス、ベルト、ロープの状態を点検してください。
- 製品を持って木に登る必要がある場合、ハーネスの背面の固定ポイントに製品を取り付けます。背面の固定ポイントにより、本製品がクライミングラインを妨げないようにするとともに、本製品の重量を背骨下部の中央で支えることができます。



警告： 本製品を環策のほうへ降ろすときは、チェンブレーキをかけてください。

引っかかった製品を外す方法

1. 本製品を停止します。
2. 木の幹に対して切り口の中、または別のツールラインで、製品を安定させます。
3. 必要に応じて枝を持ち上げながら、切り口からチェンソーを慎重に引き出します。

警告： 製品を力任せに引き抜こうとしないでください。重傷を負う危険があります。

4. 必要に応じて、ハンドソーまたは別のチェンソーを使用して、本製品を外します。引っかかっている本製品から 30 cm（12 インチ）以上離れた枝を切断します。製品が引っかかっている場所から外側の端を切断します。

メンテナンス

はじめに

警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

メンテナンスのスケジュール

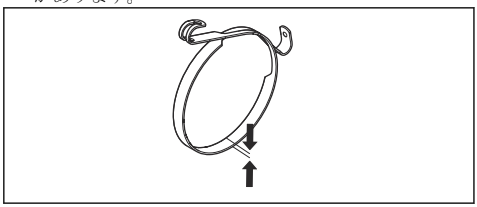
毎日のメンテナンス	毎週のメンテナンス	毎月のメンテナンス
製品の外部部品を清掃し、ハンドルにオイルが付着していないことを確認します。	冷却システムを洗浄します。*冷却システムの清掃 28* ページを参照してください。	ブレーキバンドを点検します。*ブレーキバンドのチェック方法 19* ページを参照してください。
スロットルトリガーとスロットルトリガーロックを点検します。*スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの点検方法 20* ページを参照してください。	スターター、スターターロープ、リターンスプリングを点検します。	クラッチセンタ、クラッチドラム、クラッチスプリングを点検します。
防振装置が損傷していないことを確認してください。	ニードルベアリングに注油します。*ニールベアリングの潤滑 27* ページを参照してください。	スパークプラグを清掃します。*スパークプラグの点検方法 23* ページを参照してください。
チェンブレーキを清掃し点検します。*チェンキャッチャーの点検方法 19* ページを参照してください。	ガイドバーの縁からバリを取り除きます。*ガイドバーを点検するには 27* ページを参照してください。	キャブレターの外部部品を清掃します。
チェンキャッチャーを点検します。*チェンキャッチャーを点検するには 20* ページを参照してください。	マフラーのスパークアレスタースクリーンを清掃するか交換します。*マフラーの点検 21* ページを参照してください。	燃料フィルターと燃料ホースを点検します。必要に応じて交換します。
ガイドバーを回して、潤滑穴を点検し、ガイドバーの溝を清掃します。*ガイドバーを点検するには 27* ページを参照してください。	キャブレター周りを清掃します。	すべての配線と接続の状態を点検します。
ガイドバーとソーチェンに十分なオイルが注油されていることを確認します。	エアフィルターを清掃または交換します。*エアフィルターの清掃 23* ページを参照してください。	燃料タンクを空にします。

毎日のメンテナンス	毎週のメンテナンス	毎月のメンテナンス
ソーチェンを点検します。*カッティング装置の点検 27* ページを参照してください。	シリンダーのフィンの間を清掃します。	オイルタンクを空にします。
ソーチェンを目立てして、張り具合をチェックします。*ソーチェンを目立てするには 24* ページを参照してください。		
チェンドライブスプロケットを点検します。*スパースプロケットの点検方法 27* ページを参照してください。		
スターターのエアインテークを清掃します。		
ナットとネジが締められていることを確認します。		
停止スイッチを点検します。*スタート／ストップスイッチのチェック方法 21* ページを参照してください。		
エンジン、タンク、燃料系から燃料の漏れがないか確認します。		
エンジンがアイドリング速度のときにソーチェンが回転しないことを確認します。		
マフラーが正しく接続されていることを確認して、部品の損傷がないこと、マフラーの部品に不足がないことを確認します。		

製品の安全装置のメンテナンスと点検

ブレーキバンドのチェック方法

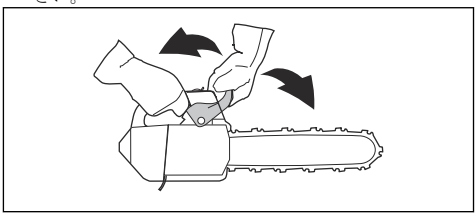
1. ブラシを使用して、チェンブレーキとクラッチドラムから、木くず、樹脂、汚れなどを取り除きます。汚れや摩耗は、ブレーキ機能低下の原因となることがあります。



2. ブレーキバンドを点検します。ブレーキバンドは、最も薄いところでも 0.6 mm（0.024 インチ）以上の厚みが必要です。

フロントハンドガードの点検方法

1. フロントハンドガードにひびなどの損傷がないことを確認します。
2. フロントハンドガードが自由に動き、クラッチカバーに安全に取り付けられていることを確認してください。

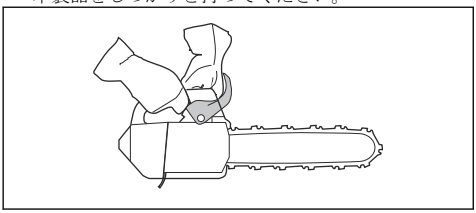


チェンキャッチャーの点検方法

1. 本製品を始動します。手順については、「*本製品の始動方法 14* ページ」を参照してください。

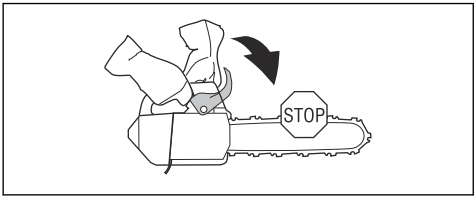
警告： ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。

2. 本製品をしっかりと持ってください。



警告： ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。

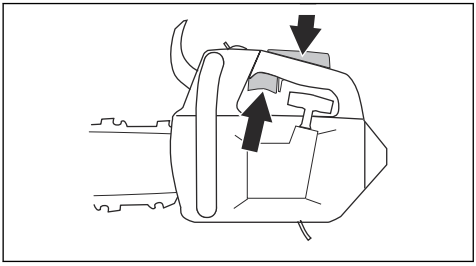
3. フルスロットルにして、左手首をフロンハンドガードに向けて傾けてチェンブレーキをかけます。ソーチェンがすぐに停止する必要があります。



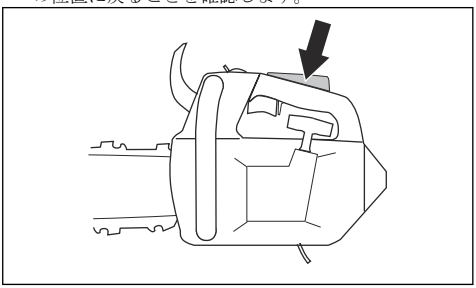
警告： チェンブレーキをかけるときは、フロントハンドルを放さないでください。

スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの点検方法

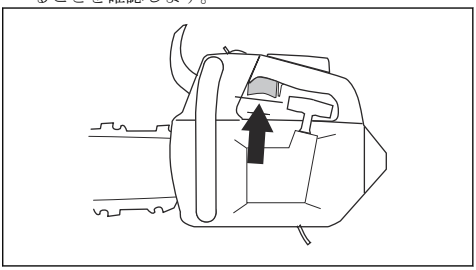
1. スロットルトリガーとスロットルトリガーロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを確認します。



2. スロットルトリガーロックを押し下げて、放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. スロットルトリガーロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの位置にロックされていることを確認します。

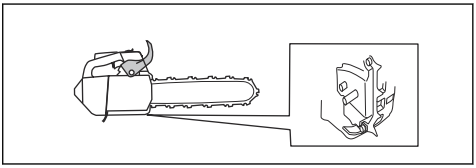


4. チェンソーを始動し、フルスロットルにします。
5. スロットルトリガーを放し、ソーチェンが停止して静止状態が保たれていることを確認します。

警告： スロットルトリガーがアイドリング位置にあるときにソーチェンが回転する場合は、サービス代理店にご連絡ください。

チェンキャッチャーを点検するには

1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認してください。
2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認してください。



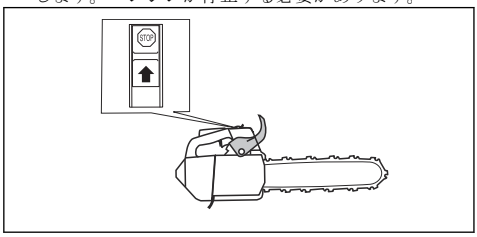
防振装置のチェック方法

1. 防振ユニットに亀裂や変形がないことを確認してください。
2. 防振ユニットがエンジンユニットとハンドルユニットに正しく固定されていることを確認します。

本製品の防振装置の位置については、*製品の概要 - 3* ページを参照してください。

スタート／ストップスイッチのチェック方法

1. エンジンを始動します。
2. スタート／ストップスイッチを STOP 位置にセットします。エンジンが停止する必要があります。

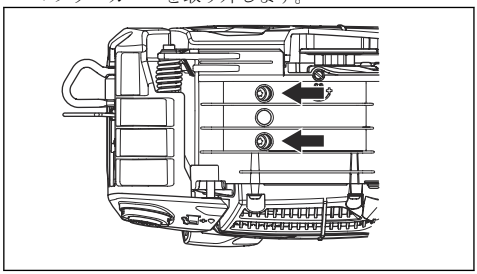


マフラーの点検

警告： 使用されたマフラー、スパークアレスター、スパークアレスター取り付けフェイスの表面には、燃焼により生じた発ガン性の粒子の堆積が含まれることがあります。スパークアレスターの清掃またはサービス時には、このような粒子が肌に触れたり吸い込んだりしないように、常に次の手段を講じてください。

- 手袋を着用する
- 清掃またはサービスは換気のよい場所で行う
- スパークアレスタースクリーンの清掃には圧搾空気を使用しない
- スパークアレスターの清掃時は、スチールブラシを使って粒子を体から払い落とす

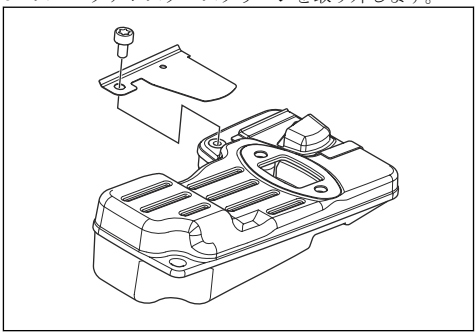
1. マフラーカバーを取り外します。



2. マフラーに損傷がないことを確認してください。

警告： 欠陥のあるマフラーや状態の悪いマフラーを取り付けた製品を使用しないでください。マフラーに不具合がある場合は、ハスクバーナ販売店に製品を送付してください。

3. スパークアレスタースクリーンを取り外します。



注記： 本製品からマフラーを取り外さないでください。

4. スパークアレスタースクリーンをスチールブラシで清掃します。スパークアレスタースクリーンが損傷している場合は交換します。
5. 本製品にスパークアレスタースクリーンを取り付けます。スパークアレスタースクリーンが正しく取り付けられていることを確認します。

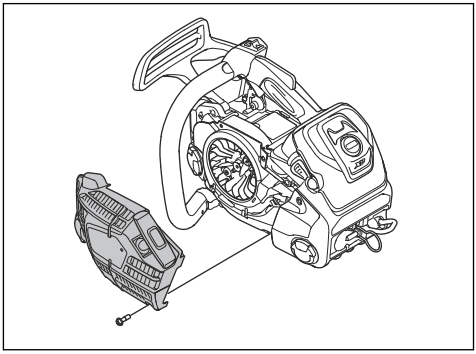
AutoTune™

本製品の AutoTune™ 機能により、キャブレターが自動的に最適な状態に調節されます。AutoTune™ 機能により、エンジンは、天候、高度、ガソリン、2 ストロークオイルの種類に適応します。

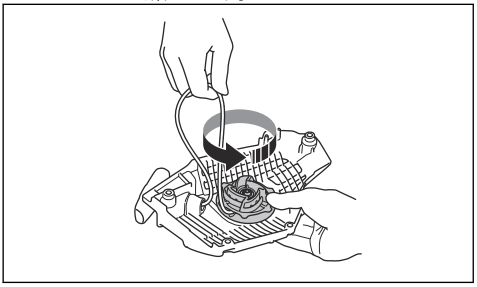
注意： AutoTune™ が正常に作動しない場合は、サービス代理店にご相談ください。何度か給油すると、本製品は正常に調節されます。

破損または摩耗したスターターロープの交換

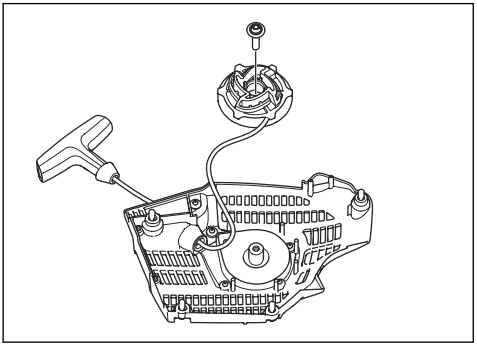
1. スターターハウジングのネジを緩めます。
2. スターターハウジングを取り外します。



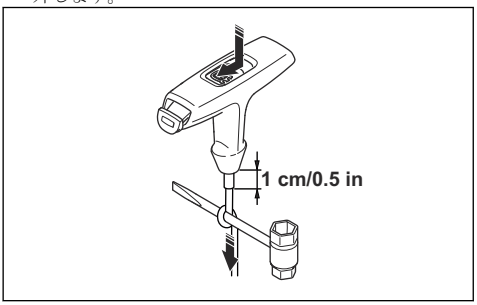
3. スターターロープを約 30 cm（12 インチ）引き出し、プーリーの切欠部に入れます。
4. プーリーをゆっくりと後方に回転させて、リコイルスプリングを解除します。



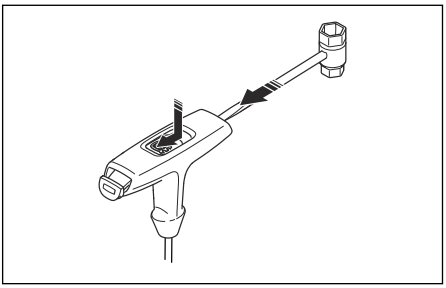
5. プーリーの中央にあるボルトを外し、プーリーを取り外します。



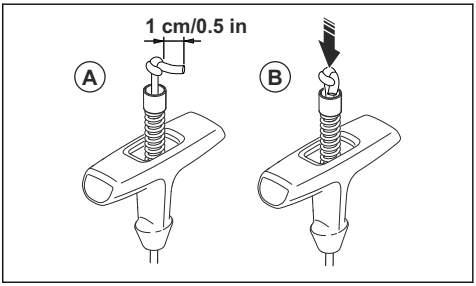
6. スターターロープハンドルを持ちます。
7. スプリングガイドが 1 cm 見えるまでスターターロープを引きます。同時に、スターターハンドルカバーを押し下げ、スターターロープハンドルから取り外します。



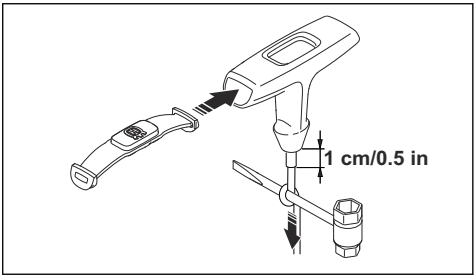
注記： スターターロープハンドル内でスターターロープが破損している場合は、スターターハンドルカバーを押し下げます。コンビレンチを使用して、スターターハンドルカバーを取り外します。



8. 新しいスターターロープをプーリーに取り付けます。スターターロープをプーリーに 3 回転ほど巻き付けます。
9. プーリーをリコイルスプリングに接続します。リコイルスプリングの端部をプーリーにはめる必要があります。
10. プーリーの中央にネジを取り付けます。
11. スターターハウジング、スターターロープハンドル、スプリングガイドの穴を通してスターターロープを引き出します。
12. スターターロープの端部から 1 cm（0.5 インチ）の位置（A）に結び目を作ります。
13. ロープ端部またはスターターロープを結び目と平行にします。
14. スプリングガイド（B）に結び目を押し込みます。



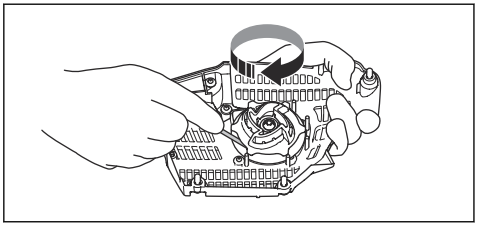
15. スプリングガイドが 1 cm 見えるまでスターターロープを引きます。同時に、スターターハンドルカバーを取り付けます。



リコイルスプリングの締めつけ

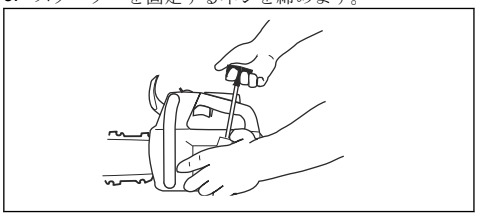
1. スターターロープをプーリーの切欠部に入れます。

2. スタータープーリーを時計方向に 2 回転ほど回します。
3. スターターロープを完全に延ばした後、プーリーを ½ 回転、回せることを確認します。



製品にスターターハウジングを取り付ける方法

1. スターターロープを引き出し、スターターをクランクケースにあてがいます。
2. プーリーに爪がかかるまで、スターターロープをゆっくりと戻します。
3. スターターを固定するネジを締めます。



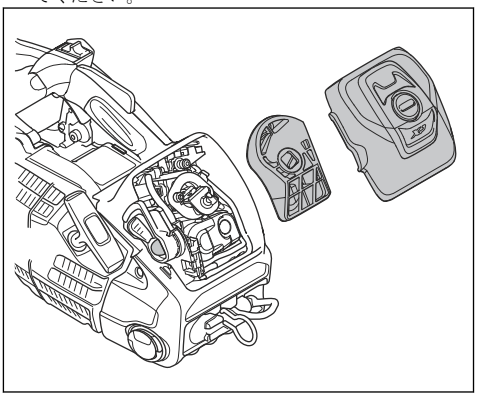
エアフィルターの清掃

エアフィルターを定期的に清掃して、汚れやほこりを取り除きます。これにより、キャブレターの故障、始動不良、エンジン出力の低下、エンジン部品の摩耗を防ぎ、通常より燃費が向上します。

1. エアフィルターカバーとエアフィルターを取り外します。
2. エアフィルターをブラシで清掃するか、振って汚れを落とします。洗剤と水を使用し、完全に清掃します。

注記： 長期間使用したエアフィルターの汚れを完全に除去することはできません。エアフィルターを定期的に交換し、損傷した場合は必ず交換してください。

3. エアフィルターを取り付ける際は、エアフィルターとフィルターホルダーが密着していることを確認してください。

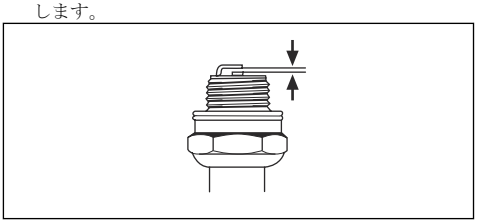


注記： さまざまな作業条件、天候や季節に応じて、本製品に各種エアフィルターを使用できます。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

スパークプラグの点検方法

注意： 推奨されているスパークプラグを使用します。*主要諸元 30* ページを参照してください。誤ったスパークプラグを使用すると、本製品が損傷することがあります。

1. 製品の始動や操作がスムーズにいかない場合や、アイドル速度で正常に動作しない場合は、スパークプラグに異物が付着していないかを確認します。スパークプラグ電極に異物が付着するリスクを下げるには、次の手順を実行します。
   a) 適切な燃料混合物を使用していることを確認します。
   b) エアフィルターに汚れがないことを確認します。
2. スパークプラグを清掃します（スパークプラグが汚れている場合）。
3. 電極間隔が 0.65 mm/0.026 インチであることを確認します。



4. 必要に応じて、スパークプラグは月 1 回以上交換してください。

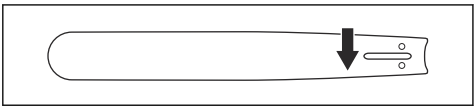
ソーチェンを目立てするには

ガイドバーとソーチェンの詳細

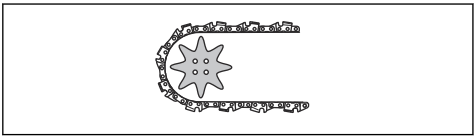
警告： ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。

摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。これは、製品の安全機能を維持するために必要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「 *アクセサリー 31* ページ」を参照してください。

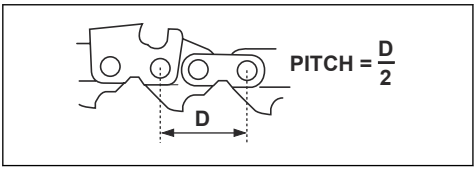
- ガイドバーの長さ（インチ／cm）。ガイドバーの長さに関する情報は、ガイドバーの後部に記載されています。



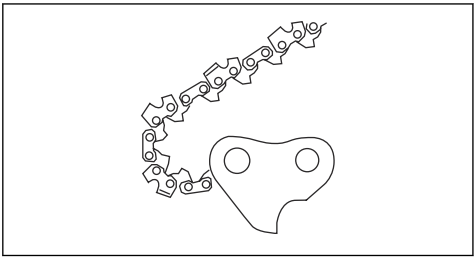
- ノーズスプロケットの歯の数（T）。



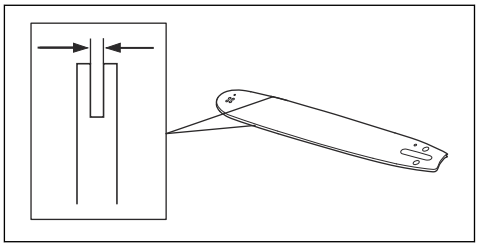
- チェンのピッチ（インチ）。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。



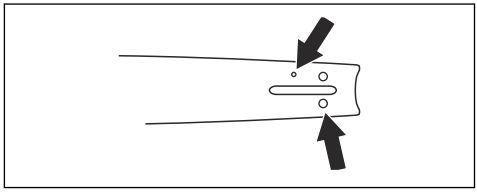
- ドライブリンクの数。ドライブリンク数は、ガイドバーの種類によって決定されます。



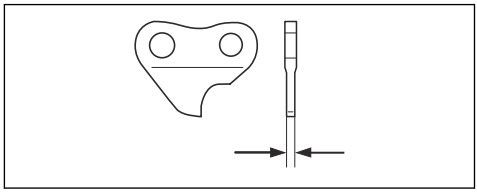
- ガイドバーのレール溝幅（インチ／mm）。ガイドバーの溝幅は、チェンドライブリンクの幅と同じにする必要があります。



- チェンオイル孔とチェンテンショナ孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅（mm／インチ）。

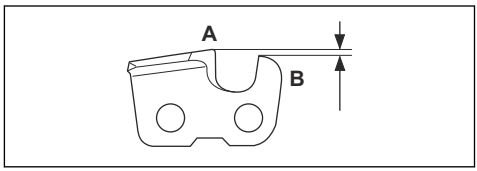


カッターの目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェンは使用しないでください。ソーチェンの刃先が丸くなると、より大きな力をかけてガイドバーを木に押し込む必要があります。ソーチェンの刃先が非常に丸くなると、木片ではなく切りくずが出ます。

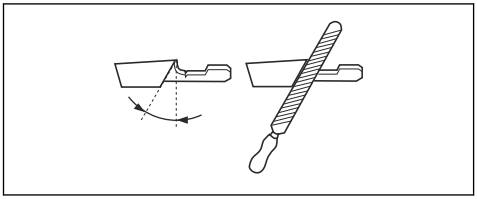
鋭いソーチェンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃（A）とデプスゲージ（B）は、ソーチェンの木を切る部分（カッター）になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度（デプスゲージ設定）になります。

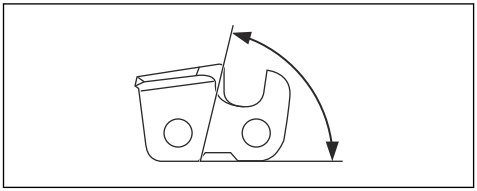


刃を目立てするときは、次のことを考慮してください。

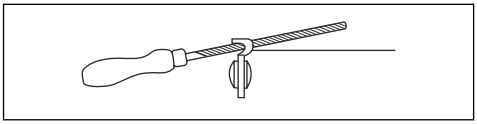
- 目立て角度。



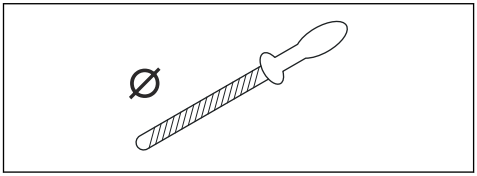
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。



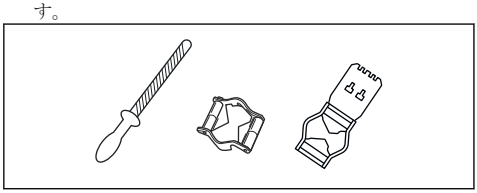
ソーチェンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 推奨の目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

警告： 目立て手順に従わないと、キックバックの力が大きくなります。

注記： ソーチェンの目立ての詳細については、*刃の目立て方法 25* ページを参照してください。

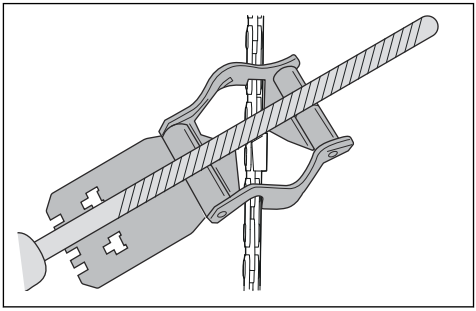
刃の目立て方法

1. 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。



注記： Husqvarna が推奨するヤスリとゲージについては、*目立て装置と目立て角度 32* ページを参照してください。

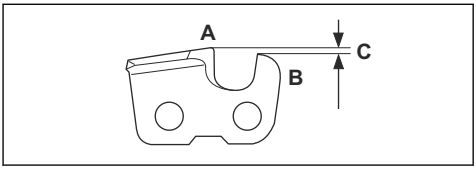
2. 目立てゲージを刃に正しく当てます。目立てゲージに付属している説明書を参照してください。
3. ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



4. すべての刃の片側にヤスリをかけます。
5. 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
6. すべての刃が同じ長さであることを確認してください。

デプスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃（A）の目立てを行うと、デプスゲージ設定（C）が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデプスゲージ設定に達するまで、デプスゲージ（B）に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソーチェンに適した正しいデプスゲージ設定について詳しくは、「*主要諸元 30* ページ」を参照してください。



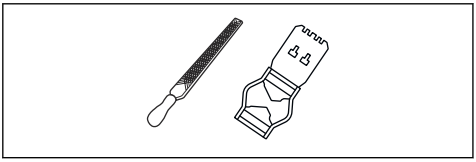
警告： デプスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デプスゲージの設定を調整するには

デプスゲージ設定の調整、または刃の目立てを行う前に、*ガイドバーとソーチェンの詳細 24* ページで手順を参照

してください。デプスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

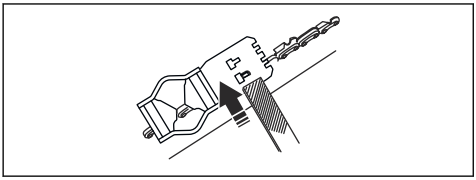
デプスゲージの設定を正しく行い、デプスゲージの角度を調整するために、デプスゲージツールの使用を推奨します。



1. 平ヤスリとデプスゲージツールを使用して、デプスゲージ設定を調整します。必ず Husqvarna 推奨のデプスゲージツールを使用して、デプスゲージの設定を正しく行い、デプスゲージの角度を調整してください。
2. デプスゲージツールをソーチェンに置きます。

注記： デプスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

3. 平ヤスリで、デプスゲージツールから突き出たデプスゲージ部分にヤスリをかけます。

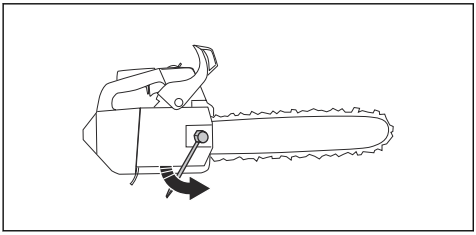


ソーチェンの張りの調整方法

警告： ソーチェンに適切な張りがないとガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

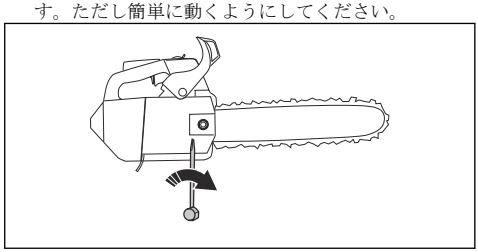
ソーチェンは、使用するにつれ長くなってきます。ソーチェンは定期的に調整してください。

1. クラッチカバーとチェンブレーキを固定しているバーナットを緩めます。レンチを使用します。

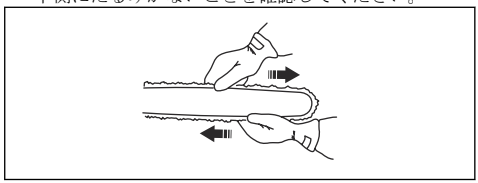


注記： 一部のモデルには、バーナットが 1 つしかありません。

2. バーナットを手でできるかぎりきつく締めます。
3. ガイドバーの前を持ち上げて、チェン張りネジを回します。レンチを使用します。
4. ガイドバーにソーチェンをしっかりと取り付けます。ただし簡単に動くようにしてください。



5. レンチを使用してバーナットを締め込みながらガイドバーの前方を持ち上げます。
6. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



製品のチェンの張り調整ネジの位置については、「*製品の概要 - 3* ページ」を参照してください。

ソーチェンの潤滑状態を点検するには

1. 本製品を始動し、3/4 スロットルで運転します。
2. 薄い色の面の上約 20 cm（8 インチ）のところにガイドバーを保持します。
3. ソーチェンの潤滑状態が良好な場合、約 1 分後に透明なオイルの線が確認できます。

4. ソーチェンの潤滑が適切でない場合は、ガイドバーを点検してください。参照：*ガイドバーを点検するには 27* ページ詳細をご覧ください。メンテナンス手順がわからない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

スパースプロケットの点検方法

クラッチドラムには、クラッチドラムに溶接されているスパースプロケットが付いています。

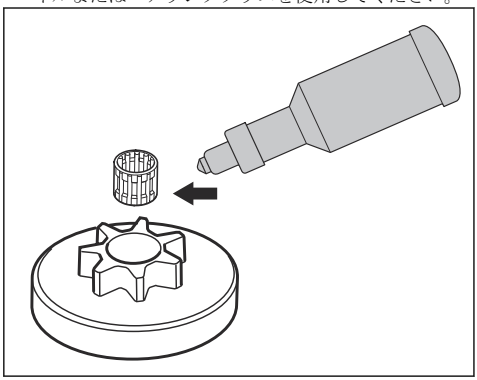
- スパースプロケットが摩耗していないことを確認してください。摩耗している場合は、最寄りの Husqvarna サービス代理店にご連絡ください。

ニールベアリングの潤滑

1. フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレーキを解除します。
2. バーナットを緩めて、クラッチカバーを取り外します。

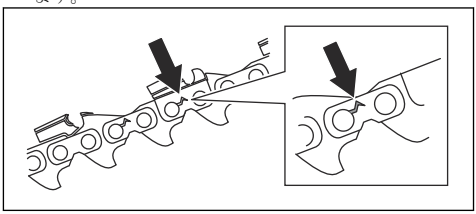
注記： 一部のモデルには、バーナットが 1 つしかありません。

3. クラッチドラムを上にして、安定した場所に製品を置きます。
4. クラッチドラムを外し、グリスガンを使用してニードルベアリングに注油します。高品質のエンジンオイルまたはベアリンググリスを使用してください。

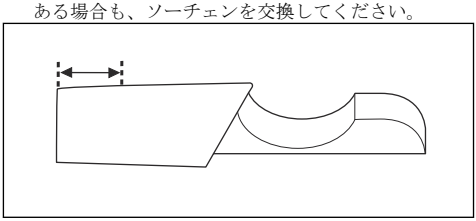


カッティング装置の点検

1. リベットやリンクに亀裂がないこと、リベットが緩んでいないことを確認します。必要に応じて交換します。

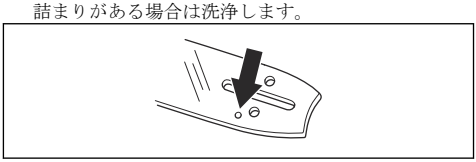


2. ソーチェンが簡単に曲がることを確認します。曲がらない場合はソーチェンを交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。
4. 刃の最長の部分が 4 mm（0.16 インチ）未満の場合、ソーチェンを交換してください。 カッターに亀裂がある場合も、ソーチェンを交換してください。

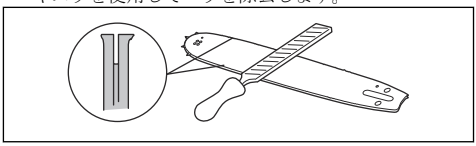


ガイドバーを点検するには

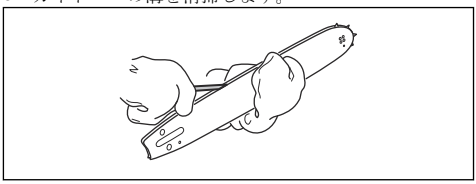
1. オイル孔に詰まりがないことを確認してください。詰まりがある場合は洗浄します。



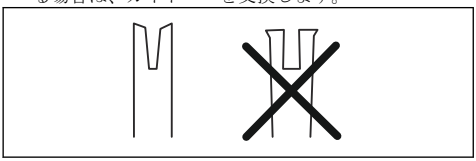
2. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。ヤスリを使用してバリを除去します。



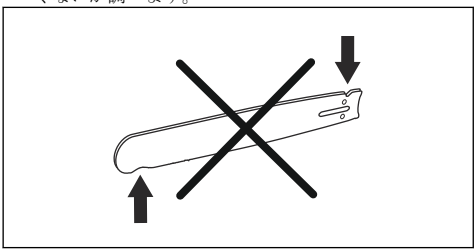
3. ガイドバーの溝を清掃します。



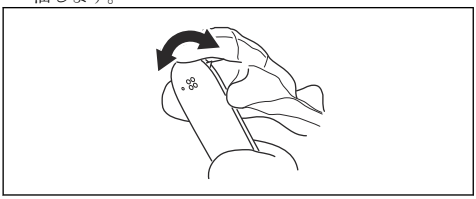
4. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。摩耗がある場合は、ガイドバーを交換します。



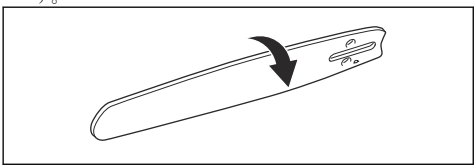
5. ガイドバー先端が粗くなっていないか、摩耗がひどくないか調べます。



6. ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転することと、スプロケットのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



7. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。



燃料タンクとチェンオイルタンクのメンテナンス方法

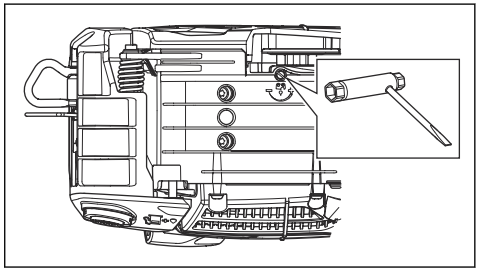
- 燃料タンクとチェンオイルタンクを定期的に排出し、清掃します。
- 必要に応じて、燃料フィルターを年 1 回以上交換します。

注意： タンク内の汚れは、故障の原因となります。

チェンオイルの流量調節

警告： オイルポンプを調整する前に、エンジンを停止します。

1. オイルポンプの調整ネジを回します。ドライバーまたはコンビレンチを使用します。
   a) 調整ネジを時計方向に回すと、チェンオイル流量が減少します。
   b) 調整ネジを反時計方向に回すと、チェンオイル流量が増加します。

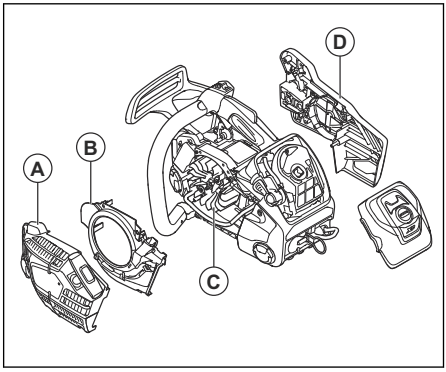


冷却システムの清掃

冷却システムにより、エンジン温度を低温で維持できます。冷却システムは、スターターのエアインテーク（A）、エアガイドプレート（B）、フライホイールの爪（C）、クラッチカバー（D）で構成されています。

1. 必要に応じて、ブラシを使用して週に 1 回以上の頻度で冷却システムを清掃します。
2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。

注意： 冷却システムに汚れや詰まりがあると、本製品が高温になり、損傷するおそれがあります。



トラブルシューティング

エンジンが始動しない

点検する製品部品	考えられる原因	行動
スターター爪	スターター爪が詰まっている。	スターター爪を調節するか、交換します。
		爪の周囲を掃除します。
		認定サービス代理店にご相談ください。
燃料タンク	燃料の種類が間違っている。	燃料タンクから燃料を抜き取り、正しい燃料を充填します。
	燃料タンクにチェンオイルが充填されている。	製品を始動した場合は、サービス代理店にご相談ください。製品を始動していない場合は、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
イグニッション時に火花が出ない	スパークプラグが汚れているか、濡れています。	スパークプラグに汚れがなく、乾燥した状態であることを確認します。
	電極間隔が間違っています。	スパークプラグを清掃します。電極間隔とスパークプラグタイプが正しいこと、およびスパークプラグが推奨品または同等品であることを確認します。
		参照： *主要諸元 30* ページ正しい電極間隔については、「 」を参照してください。
スパークプラグとシリンダー	スパークプラグが緩んでいる。	スパークプラグを締めつけます。
	イグニッション時に、始動レバーが始動位置にある状態で繰り返し始動したため、エンジンに混合気が過剰に供給されています。	スパークプラグを取り外して清掃します。スパークプラグ穴を自分と反対側に向けて本製品を置きます。スターターロープハンドルを 6 ～ 8 回引きます。スパークプラグを組み立てて、本製品を始動します。参照：*本製品の始動方法 14* ページ。

エンジンは始動するが停止する

点検する製品部品	考えられる原因	対応措置
燃料タンク	燃料の種類が間違っている。	燃料タンクから燃料を抜き取り、正しい燃料を充填します。
キャブレター	アイドリング速度が正しくありません。	サービス代理店にお問い合わせください。
エアフィルター	エアフィルターが詰まっている。	エアフィルターを掃除、または交換してください。

点検する製品部品	考えられる原因	対応措置
燃料フィルター	燃料フィルターが詰まっている。	燃料フィルターの交換

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 本製品と燃料を保管、搬送する場合は、漏れや煙がないことを確認してください。電気装置やボイラーなどからの火花や裸火により、火災が発生する場合があります。
- 燃料を保管、搬送する場合は必ず、認証されたコンテナを使用してください。
- 輸送または長期保管する前に燃料タンクおよびチェンオイルタンクを空にしてください。燃料とチェンオイルは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。動いていないソーチェンでも重症を負う場合があります。
- スパークプラグからスパークプラグキャップを外してチェンブレーキをかけてください。
- 輸送中は製品をしっかりと固定してください。

本製品の長期保管の前に

1. 本製品を停止して、冷却したら分解してください。
2. ソーチェンを外して、ソーチェンとガイドバーの溝を清掃します。

注意： ソーチェンとガイドバーを清掃しないと、固着や詰まりが発生します。

3. 移動用ガードを取り付けます。
4. 製品を清掃します。手順については、「*メンテナンス 18 ページ*」を参照してください。
5. 製品を完全に点検します。

廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- すべての化学物質（エンジンオイルや燃料など）はサービスセンターまたは適切な廃棄場所に廃棄してください。
- 本製品が不要になった場合は、Husqvarna 販売店に送付するか、リサイクル施設で廃棄してください。

主要諸元

主要諸元

	Husqvarna T540XP® Mark III
エンジン	
排気量、cm^3	39.1
アイドリング回転数、r/min	3000
ISO 8893 に準拠した最大エンジン出力、kW/hp（r/min）:	1.9/2.6（10,200）
イグニションシステム [1]	
スパークプラグ	NGK CMR7H
電極ギャップ、mm	0.65
燃料および潤滑システム	
燃料タンク容量、L/cm^3	0.31/310
オイルタンク容量、L/cm^3	0.23/230

[1] 必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください！不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーが破損する原因となります。

	Husqvarna T540XP® Mark III
オイルポンプの型式	調整可能
質量	
質量、kg	3.8
騒音排出 [2]	
実測音響レベル dB（A）	110
保証音響レベル L_{WA} dB（A）	112
サウンドレベル [3]	
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB（A）	102
等価振動レベル、hveq [4]	
フロントハンドル、m/s^2	3.5
リヤハンドル、m/s^2	3.4
ソーチェン／ガイドバー	
ドライブスプロケットの種類、歯数	0.325 インチ Spur7
最大エンジン出力 133% におけるソーチェン速度、m/s	26.9

アクセサリー

推奨するカッティング装置

チェンソーのモデル Husqvarna T540XP® Mark III は、EN ISO 11681-2:2011（林業機械－可搬式チェンソーの安全要求事項及び試験－パート 2：立木伐採用チェンソー）に従って評価され、以下のガイドバーとソーチェンの組み合わせを取り付ける際の安全要件を満たしています。

低キックバックのソーチェン

低キックバックソーチェンとして設計されたソーチェンは、ANSI B175.1-2021 に規定されている低キックバックソーチェンの要件を満たしています。

[2] 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー（L_{WA}）として測定。

[3] 等価騒音レベルは ISO 22868 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつきは、1 dB（A）の標準偏差となります。

[4] 等価振動レベルは ISO 22867 に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は $1m/s^2$ です。

キックバックとガイドバーのノーズ半径

ガイドバー				ソーチェン		
長さ、インチ／cm	ピッチ、インチ	ゲージ、インチ／mm	最大ノーズ半径	タイプ	長さ、ドライブリンク（数）	低キックバック
12/30	0.325 ミニ	0.043/1.1	8T	Husqvarna SP21G	51	はい
14/36					59	
16/41					64	

通常、切断に使用できる長さは、公称ガイドバー長より 1 インチ短くなります。

目立て装置と目立て角度

Husqvarna 製目立てゲージを使用して、ソーチェンを目立てします。Husqvarna 製目立てゲージを使用すると、正しい目立て角度で目立てできます。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンのタイプがわからない場合は、www.husqvarna.com を参照してください。

SP21G	5/32 インチ/4.0 mm	595 00 47-01	0.025 インチ／0.65 mm	30°	60°	0°	595 00 46-01

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社（**Husqvarna AB**, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号：+46-36-146500）は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	森林作業用チェンソー
ブランド	Husqvarna
タイプ／モデル	T540XP® Mark III
ID	年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

規制	**名称**
2006/42/EC	「機械類に関する」
2014/30/EU	「電磁環境適合性に関する」
2000/14/EC	「環境への騒音排出に関する」
2011/65/EU	「電気・電子製品に含まれる特定有害物質の使用制限に関する」

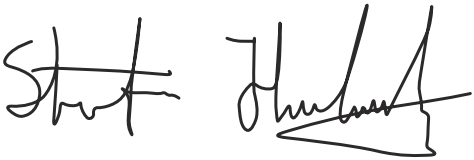
および以下の規格または技術仕様が適用されています。
EN ISO 12100:2010, EN ISO 14982:2009, EN ISO 11681-2:2011/A1:2017, EN 63000:2018.。

証明書番号：0404/22/2573。

認証機関：0404, RISE SMP Svensk Maskinprovning AB がハスクバーナ社に代わり、機械指令（2006/42/EC）第 12 条、項目 3b、付録 IX に準拠して EC 型式審査を実施しました。

騒音排出に関する詳細： *主要諸元 30 ページ*。

Huskvarna, 2022-09-21



Stefan Holmberg、研究開発責任者、技術管理、ハスクバーナ社

正式代表兼技術文書担当

Husqvarna®

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1142997-79

2025-02-06